

学習のむらでは、一年に一度、周防大島町に保存している昔の暮らしに使われた道具や、古い写真を持って老人ホームを訪問しています。今回は2月21日に特別養護老人ホームほのぼの苑（小松）に伺いました。

若かった頃の事を思い出して楽しく語り合うと、脳が活性化して認知症の予防にも効果があるのではといわれています。昔の暮らしを勉強している私たちに



—老人ホーム訪問— 記憶の中の道具たち

勉強している私たちに
としては、道具の使い方や使っていた方の思いなどを聞かせていただく貴重な機会となっています。

今回も「町には醤油屋さんがあった」「うどんはいつも自分の家で作った」「あの街角に電気屋があった」と多くのお話を聞かせていただきました。

暮らしを支えた道具たちは今では健康のためにも貢献してくれています。今後もご要望をいただければ、道具たちとともに施設を訪問したいと考えています。（古賀）



座を開催。ハワイからのお客様も参加してください、大変有意義な時間となりました。

さとうきびプランテーションで日系人労働者によって歌われていたホレホレ節。色々な歌詞バージョンがあり、当時の苦労や生活の様子が伺えます。ハワイへ到着した様子、畑仕事とプランテーションのルナ（監督）に対する不満、子育て、写真結婚、男女の関係やもつれ等、その時代ならではの歌もありますが、いつの時代も変わらない悩みや感情も歌詞からうかがえました。

当時の日本は、日の出日の入りと共に仕事をしていたのが、ハワイでは時計によって管理される生活になり、かなりのストレスを感じていた、ということも読み取れる歌詞もあります。

ホレホレ節の中にはハワイ語や英語、またプランテーションの中で発達した混成言語であるピジン語も見られ、ハワイならではの文化が見てとれます。山口、広島に移住者が多かったため、中国地方の方言がピジン語の元になった単語もあります。ハワイから参加してくださった方にも、普段の生活で使うピジン語やハワイの多文化社会についてお話ししてもらいました。



大島ご出身の参加者の方は、80年代に録音されたホレホレ節の映像を見て、「昔盆踊りで歌っていた歌の口説きに大変似ている。懐かしい気持ちになりました」とおっしゃっていました。また、講座を聞いて「ハワイに対する印象が180度変わりました」という感想もいただきました。過去を振り返ることは、今をつなげることに通じる、

と感じた講座となりました。ご参加くださった皆様ありがとうございました。（西田）

高い有酸素運動効果！



ノルディックウォーキング

周防大島町総合体育館



健康づくりの一環としてウォーキングを楽しんでいたため、毎月第4木曜日に「いきいき健康ウォーキング」を開催しています。

ノルディックウォーキングは、ポールを使った全身運動で、年齢や体力を問わずに取り組めて、全身の筋肉を使えるスポーツです。負担は軽く、体力づくや減量などにとっても効果的で、通常のウォーキングよりエネルギー消費量が約20%も増加すると言われています。

インストラクター指導のもとで行いますので、初心者の方も大歓迎です。日頃から出来る体操やウォーキングのアドバイスも行っています。（中村）
●日時…毎月第4木曜日（7、8月はお休み）10時～11時半

●場所…周防大島町陸上競技場 ※雨天時総合体育館アリーナ（室内履きをお持ち下さい）
●対象…どなたでもご参加いただけます
●参加料…ポールレンタル 無料（予約不要です）
●携行品…タオル・飲み物・帽子等
●その他…歩きやすい服装でご参加ください
●問い合わせ先…0820・78・2512



ホレホレ節に見る ハワイ移民の暮らし

2月8日（土）に「ホレホレ節から学ぶプランテーションの生活とハワイ社会」と題して開館記念講

熊本博物館での 宮本常一展

当館では、各地の企画展に所蔵資料の貸出を行っています。

今年度は、熊本博物館で開催中の企画展『旅の巨人』と呼ばれる民俗学者・宮本常一（2月8日～3月22日）に、宮本が生前に撮影した写真、直筆の原稿やノートなどを出展しました。さらに、国重要有形民俗文化財「周防大島東部の生産用具」から、熊本の東洋社が生産した「日の本号」という犁も展示していただき、思わぬ形で周防大島の土を耕した農具が里帰りを果たしました。

企画展示初日には、当館学芸員が講演に赴きました。会場には東洋社の関係者や、宮本と親交のあった民具収集家も来場され、定員50名をはるかに超える方が来場。20回近く当地を訪問した宮本常一への関心の高さがうかがえました。

また、企画展では本町観光キャラクターのみかキン・みかトトが会場を案内したり、当地の観光パンフレットが配布されたり

と、熊本博物館の計らいで周防大島を熊本県民にアピールしていただきました。

今後も、宮本常一の縁の地と、資料を紹介した交流を推進していきたいと思えます。（高木）



研修視察で 広島市へ

2月19日、当会の研修で広島平和記念資料館と広島城を訪問しました。



まず広島平和記念資料館では、学芸員の土肥幸美氏から近年リニューアルした展示理念を紹介いただき、館内を見学。原爆投下の記憶が薄れていくなか、観覧者が追体験できるような展示になっていました。写真等を身大まで引き延ばし臨場感を持たせる、遺品を一ヶ所にまとめて展示する集合展示なども印象的でした。



資料収集・研究と同時に、被爆体験継承の役割が今後さらに重要性を増すと思われる。私たち民具や生活に関する当事者からの聞き取りに直面して

り、大いに参考になりました。次に広島城では主任学芸員の前野やよい氏の案内で、天守の展示スペースを見学。構造的に展示スペースが限られる中、城下町の暮らしをテーマに刀剣や馬具も展示されていました。コミカルなフォントやイラストで親しみやすい印象を与える工夫がなされていました。

館内ではボランティアの方々が来館者のガイドを担当されていました。

生涯学習の一環としてボランティア活動を位置づけて学習の機会を提供し、同時にガイドとして来館者へ還元してもらうというのです。博物館のスタッフに求められる役割が多角化しているなか、利用者の案内など職員に網羅しきれない業務のうち、意欲のあるボランティアの力を借りること、その育成や運営についても学べることが多い研修でした。（徳毛）



イベントひろば

八幡生涯学習のむら

陶芸作品展を開催

陶芸教室の講師・受講生による作品展を開催。一年間の成果をぜひご覧ください。

体験コーナー

ミニ香炉を作る体験です。香炉の蓋に穴をあけて煙だしを製作。

期間…3月27日（金）～3月29日（日）9時～16時（最終日は15時まで）／入場無料

体験料…1000円（限定20個）

場所…八幡生涯学習のむら ふれあいの間・商いの間

陶芸教室のお誘い

毎月開催の教室。初心者の方には基礎から学べる入門講座がおすすめです。

◆本格講座

【開講日】①毎月第一・第三水曜、②毎月第一、第三木曜、③毎月第一、第三土曜※時間はいずれも13時～15時

④毎月第一、三水曜19時～21時

【受講料】1500円（年間一括払い15000円）、材料費…粘土代1kgにつき200円

◆入門講座（初心者向け）

陶芸の基本技術を習得するコース。本格講座の4つの開講日のいずれかに連続3ヶ月ご参加いただけます。

※受講料は同じ。別途、入会金1500円が必要です。

申し込み…0820・72・2601

日本ハワイ移民資料館

座談会日時決定！

日時…令和2年3月29日（日）13時半～

今回の座談会をスタートに、山口学プロジェクトと協力し「皆様の中のハワイ」を記録し後世に伝えていきます。

今回は参加出来ない方でも：

●先祖や知り合いにハワイ移民者がいる方
●ハワイ移民以外の移民者が先祖にいます
●周防大島の移民・歴史に興味がある方は非当館にご連絡下さい！移民で苦労された方の軌跡を当資料館に教えて下さい。

座談会と併せて桜のレイメイキング

3月29日（日）9時半～

※桜の開花状況により3月22日（日）13時半～に変更の場合あり

申し込み…TEL 0820・74・4082

Fax 0820・72・4133

